



おちんちはどうしてあるの

おちんちは^{だんせい}男性やおすのしるし

人間にも動物にも、みんな^{だんせい}男性と^{じょせい}女性、おすとめすのちがいがあります。

おちんちがあるのは、^{だんせい}男性やおすのしるしなのです。

おちんちには、^{ふた}二つの大切な^{やくめ}役目があります。その^{ひと}一つは、おしっこをするのに^{ひつよう}必要なことですが、もう^{ひと}一つは、おとなになって^{あか}赤ちゃんをつくる、^{だいじ}大事な^{しごと}仕事をする^{こと}ことです。

^{あか}赤ちゃんは、^{ちちおや}父親と^{ははおや}母親が^{きょうりょく}協力^うしないと^う生まれ^{ない}ない

^{あか}赤ちゃんはお^{とう}父さん（^{だんせい}男性）とお^{かあ}母さん（^{じょせい}女性）が、^{きょうりょく}協力^うしなければ^う生まれ^{ません}ません。

^{あか}赤ちゃんの^{いのち}命は、^{だんせい}男性の^{からだ}体の中にある^{せいし}精子というものと、^{じょせい}女性の^{からだ}体の中にある^{らんし}卵子というものが、^{はじ}いっしょになったときに^{はじ}始まります。

そして、^{あか}赤ちゃんは、^{じょせい}女性のおなかの中で^{なか}育ち、^{そだ}やがて、^う生まれてくるのです。

^{あか}赤ちゃんをつくるためには、^{いでんし}遺伝子というものが^{ひつよう}必要です。^{いでんし}遺伝子は^{あか}赤ちゃんの^{からだ}体などをつくるための、^{せつけいず}設計図のようなものですが、この^{ひと}一つの^{せつけいず}設計図をつくるためには、^{だんせい}男性の^{からだ}体でつくられた^{いでんし}遺伝子と、^{じょせい}女性の^{からだ}体でつくられた^{いでんし}遺伝子を、^{はんぶん}半分ずつ^あ合わせなければ^なりません。

^{だんせい}男性の^{からだ}体でつくられた、^{いでんし}遺伝子という^{せつけいず}設計図を、^{じょせい}女性の^{からだ}体でつくられた、^{いでんし}遺伝子へ^{はこ}運ぶ、^{たいせつ}大切な^{せいし}はたらきをしているのは^{せいし}精子です。おちんちは、その^{せいし}精子を^{つく}作る^{ところ}なのです。

（監修・保志 宏）

